

森(モリ)・盛(モリ)・オホーツク



No. 3 平成27年6月1日

林野庁 北海道森林管理局

常呂川森林ふれあい推進センター

クラフト作成を楽しむ！ 【オホーツク木のフェスティバル】

5月22～24日、オホーツク木のフェスティバルがサンドーム北見で開かれ、常呂川FCは、北見事務所と一緒にオホーツクの会の協力を得ながらネームプレート作成、パネル展示、クラフト作成などを行いました。

フェスティバルには、北見市内を中心に約4万人が来場し、私たちのブースもほとんど人が途切

れることはなく、子どもからお年寄りまでまさに老若男女に楽しんでいただきました。

ロケットラワン（ラワンの種模型）などは、日赤看護大生のお手伝いもいただき子どもたちに大人気でした。

また、マツボックリや木の枝などの自然素材を使ったクラフト作成は子どもだけでなく比較的年配の方々

にも好評で見本として展示したフクロウや犬だけでなく、オリジナル作品を作り上げていく方も見られました。

そのうちの一人は「自然にあるものだけで作れること、自分の発想で変化が楽しめることが楽しいです。」と話して下さいました。

森林に行かなくても、自然の恵み・産物(?)を利用することで森林を身近に感じ、森林とふれあうきっかけになればと思います。



森に咲く花 NO.2

<ニリンソウ>



キンポウゲ科、高さ 15～30cm
になる変異の大きい多年草。低

地～山地のやや湿った明るい林内に生え、通常1本の茎から2個（1～4個もある）の
白い花を4～6月に咲かせる。

演歌歌手、川中○幸が「ふたりは二輪草 ♪」と歌ったが、その花言葉は「友情、ずっ
と一緒」など。

がく片が緑色の型を**ミドリニリンソウ**といい、その
変異幅は大きく、まれに赤みがかかったものもある。

山菜としても親しまれているが、同属のトリカブト
（猛毒）と葉が類似しており、花が咲いている物だけ
を採取するなど、誤食を避けることが必要。

北見市街地でも、野付牛公園や屯田公園（常盤町、
市民会館付近）で群生を観察することができる。



今後の主な活動予定

- 6月 5日 日赤看護大学フィールドワーク（野付牛公園）
- 20日 生田原教育センター「森林教室」
- 28日 オホーツクの森づくり
- 29日 第12回ボランティア育樹

北海道森林管理局 常呂川森林ふれあい推進センター

090-8588 北海道北見市北斗町3丁目11-3

TEL 0157-23-2960 FAX 0157-26-2144

http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/tokorogawa_fc/